

JR豊肥本線が全線開通します

平成28年熊本地震により肥後大津駅～阿蘇駅間で不通となっていたJR豊肥本線が8月8日に念願の全線開通を迎えます。このことから、JR豊肥本線立野駅では約4年ぶりに列車を出迎えることとなり、昨今のコロナ禍で暗い話題が多い中での明るいニュースとなりました。

8月8日のJR豊肥本線の全線開通を記念して、立野駅では当日に下記のとおり2つのイベントの開催を予定しています。

南阿蘇村の復興に向けての新たな一歩となる瞬間です。皆さんでお祝いをしましょう。

■始発列車の出迎え

8月8日(土) 9:30～10:32 立野駅にて

- ・あそぼーい 09:52着～09:56発便(4分間)
 - ・九州横断特急 10:30着～10:32発便(2分間)
- 上記、2本の列車のお出迎えとイベントをおこないます。

■地元の立野地区もJR豊肥本線を歓迎します

待ち望んでいたJR豊肥本線の全線開通に合わせ、立野わかもん会が主催となり立野地域夏祭りが開催されます。子どもからお年寄りまで楽しめる企画が沢山用意されています。主催者からは「村外で再建された方々もぜひJRでお越しいただき、久しぶりの交流の機会になれば」との話がありました。

日時：8月8日(土) 午後4時～8時

場所：立野駅前広場



被災地を想い、物資を届ける 南阿蘇村地域婦人会が被災地へ支援物資を送りました

南阿蘇村地域婦人会は、タオル約500枚、石鹸、軍手などの支援物資を会員や有志の方々の支援によって集め、熊本県婦人会と日赤熊本県支部をとおして被災地へ送りました。

物資は熊本地震の経験を生かして、仕分けを省略化するために種類ごとに細かく分類し、使用用途が一目で分かるよう梱包されていました。すぐに使用できるように被災者の気持ちに寄り添った支援を心がけたとのこと。

会長の長尾公代さんは「熊本地震の恩返しとして、何ができるか」と考え支援を決めた。たくさんの方にも理解をいただき、被災地を思う優しい気持ちが集まった。被災地に南阿蘇からの想いが届けられるように今後も随時必要なものを集めて支援していきたいとお話しされました。



地域おこし協力隊 津奈木町へ災害支援物資を届けました

令和2年7月豪雨災害が起きた7月4日、交流のある津奈木町地域おこし協力隊よりSNSを通じて物資支援の呼びかけがありました。これを受け、被災者や地域へ何かできないかと、村内の方へ物資などの呼びかけをおこなったところ、5日の午前中までに皆様から飲料水や日用品、食料などの支援物資が集まり、第1便の隊員3人(小川、井上、中西)と第2便の隊員2人(五十嵐、大田)で、被災地へと向かいました。

津奈木町社会福祉協議会の職員の方と津奈木町地域おこし協力隊の曾地さんに、直接支援物資をお渡しすることができ、災害状況も伺うことができました。

今後も、被災地の状況を把握しながら支援をおこなっていききたいと思います。

